

大久野島ビジターセンター便り

Vol.77 (H29.7.22)

梅雨が明けて、夏本番となりましたね。毎日暑いですがみなさんはいかがお過ごしでしょうか？大久野島のこの時期は平日でも海水浴場やプールが大人気！島の豊かな自然の中でみなさん大久野島を満喫されているようです。特に海水浴は白い砂浜と透き通った海で泳げるのでおすすめです。

反対に、ウサギに会いに来られる方は…夏はあまりおススメ出来ません。ウサギたちは、毛皮のコートをきているため夏の暑さが苦手なので、日中は木陰や山の中で暑さが過ぎるのをじっとまって過ごしています。「たくさんウサギがいると聞いて来たのに、全然いない！」とよく言われますが、どうしてもこの時期に会いに来られたいかたは、朝一番の船で来ていただくか、暑さがやわらぐ18時以降まで待っていただくと思えますよ！

今回は夏本番を迎えた島の様子をみなさんにご紹介いたします。

夏の久野島を満喫しよう！



【島にあるプール(2017.7.15)】

・この日がプール開きでした。目の前には瀬戸内の島々の景色が広がり、みなさん長閑な雰囲気を楽しんでいるようでした。



撮影：藤旗 通彦

【島の海水浴場】※写真向かって右側の砂浜

・花崗岩が風化・侵食した砂は粒が細かくてとてもきれいです。透き通った海水は、白い砂地が透けて見えてエメラルドグリーンの色に見えます。



【暑そうなアナウサギ(2017.7.22)】

・日陰では、アナウサギたちが暑さをしのいでいました。みんな息があがって、かなり暑そうですが…ウサギたちのいる場所は風が通り心地良いですよ！



【穴にはまるアナウサギ(2017.7.22)】

・自分の掘った穴にはまり、暑さをしのいでいました。土がひんやりして気持ちよいの？それとも穴のはまり具合がよいの？少し出ている前脚がキュートです。

お知らせ

ビジターセンターでは、10月31日(火)まで「忠海&大久野島の野鳥展 ～写真&バードカービングで鳥のことを学ぼう～」を館内レクチャールームで開催しています。

地元の忠海自然史研究会有志の野鳥写真と岡山バードカービングクラブ有志の作品(会長のご配慮で岡山動物画の会有志の作品である色鉛筆画も展示させていただいております)を展示し、大久野島や身近な場所で観察できる野鳥を紹介しています。野鳥写真ではどんな場所に生息しているかなどを見ていただき、バードカービング作品では実際の鳥の大きさや色、柄などを学んでいただきたいと思います。お越しいただいた方からは「来た甲斐がありました！」とのうれしい声もいただいております！島にお越しの際には是非大久野島ビジターセンターにお立ち寄りください。



忠海・大久野島の野鳥展

～写真&バードカービングで鳥のことを学ぼう～

- 期間 平成29年6月17日(土) ～ 10月31日(火)
- 会場 大久野島ビジターセンター レクチャールーム内
(開館時間:9時～16時 毎週水曜日休館)

○入館料 無料

展示作品

- ・忠海・大久野島で観察できる野鳥写真
- ・広島県内で観察できる鳥の名前のつく植物写真
- ・バードカービング作品
- ・色鉛筆画

協力

- ・忠海自然史研究会
- ・岡山バードカービングクラブ
- ・岡山動物画の会

☆バードカービングって何かな？

木で彫った鳥の彫刻のことで、その昔、ガンやカモなどの水鳥を捕獲する際に、オトリとして鳥に似た置物を作ったことが始まりといわれています。最近では剥製の代わりに博物館などでバードカービングを展示するところが増えてきています。



活動報告

中国四国地方環境事務所の主催で、年2回、大久野島周辺の自然・歴史・文化を訪ねる瀬戸内エコツアーを行っています。第27回目の今回は、「大久野島で磯の生き物を観察しよう！」を開催いたしました。

宮島の磯・生きもの調査団の先生の解説のもと、磯の生き物探しと観察をした他、ネイチャーゲームやトコロテン作りなどを行いながら、瀬戸内の海の環境について学びました。磯の生き物観察では、きれいな海に生息しているケガキやクロフジツボ、カメノテなどを多く見つけることが出来、海の生き物たちから島が豊かな自然環境であるということを学びました。みなさんも島に来た時には、綺麗な景色や豊かな自然を満喫してみてくださいね！

この度も講師のご協力のもと、無事に終了することができました。どうもありがとうございました。



関自然保護官による開会あいさつ



トコロテン作り
・テングサの重さを計っているところ

トコロテン作り
・テングサを煮ているところ

トコロテン作り
・テングサの煮汁をバットで冷やすところ

磯の生き物のオリエンテーリング
・磯で見ることが出来る生き物の解説

ネイチャーゲーム 実施風景

